

款 6 農林水産業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,211,559,000円	2,183,111,094円	98.7%	7,347,350円	21,100,556円

項 1 農業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
990,468,000円	980,924,902円	99.0%	0円	9,543,098円

目 1 農業委員会費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
18,962,000円	18,217,456円	96.1%	0円	744,544円

目的	農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定を進める				
指標	農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定延べ面積	目標	540 ha	実績	545 ha (19年度 516 ha)
説明	利用権設定延べ面積は、認定農業者への農地集積を進めた結果、545ha(対前年29ha増)となり、目標を達成することができました。今後も、農業の担い手への農地利用権設定を進め、農地の保全・有効活用を図ります。				

〔農用地利用集積特別対策事業費〕 1,005,338円 (その他特財 22,000円)
 〔農地調整事務処理事業費〕 30,000円 (県支出金 21,000円)
 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定など農地の利用調整とあわせを実施しました。

その他経費

〔委員報酬〕 12,959,392円 (県支出金 5,413,000円)
 農業委員会委員
 〔農業経営管理能力向上支援事業費〕 21,576円
 〔農業者年金関係事業費〕 596,000円 (その他特財 557,600円)
 「農業委員会だより」や農協広報誌に記事を掲載し、農業者年金制度への加入促進に努めました。
 〔負担金〕三重県農業会議 956,000円
 〔一般経費〕 2,649,150円 (県支出金 80,000円、その他特財 61,800円)

目 2 農業総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
276,976,000円	275,932,044円	99.6%	0円	1,043,956円

〔一般職給〕 31人 262,010,908円 (その他特財 60,298,478円)
 〔嘱託職給〕 1人 3,892,352円

目的	水田経営所得安定対策の推進				
指標	対策加入者数	目標	55経営体	実績	52経営体 (19年度 48経営体)
説明	需要に見合った売れる米の生産及び生産調整実施のため、各地区の農業推進協議会や集落において説明会を開催し、積極的な情報提供を行いました。対策加入者数は目標を下回ったものの、生産調整においては目標を達成しました。 また、生産調整に対応した麦、大豆生産においては、19年度から実施された水田経営所得安定対策に基づく交付金制度に加入した認定農業者や集落営農組織の担い手にその農作業が集約され、従来からの生産面積を確保するとともに、効率的な生産体制が確立されました。				

〔生産調整推進対策事業費〕	6,192,880円	(県支出金 925,000円)
〔地区農業推進協議会交付金〕 22地区協議会	2,600,000円	
その他経費		
〔負担金〕	59,000円	
・三重農林水産統計協会	9,000円	
・三重県森林協会	50,000円	
〔一般経費〕	1,176,904円	(その他特財 22,658円)

目3 農業振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
667,434,000円	660,603,793円	99.0%	0円	6,830,207円

目的	農業生産を中核農家が担うようになる				
指標	認定農業者数	目標	220経営体	実績	223経営体 (19年度 218経営体)
説明	<p>認定農業者については、更新認定を含めて21経営体の認定を行いました。その内新規に認定農業者となったものは7経営体あり、その中には2つの法人が含まれています。法人経営体は合計14となり、徐々に経営の法人化が進んでいます。更新をしなかったものが2経営体あったことから、認定農業者数は差引5経営体の増となりました。</p> <p>一方、19年度から実施しているアグリクリエイター創生事業では、農家が行う直販施設の整備に対して支援を行うとともに、新規就農者の初期投資補助を行い、新たな農業の担い手の確保に努めました。加えて、借入れ資金返済時の利子補給を通じて制度資金の活用を促し、認定農業者の施設改善を図りました。</p>				

〔四日市アグリクリエイター創生事業費〕	11,761,495円	
・農のプロフェッショナルづくり事業費	2,453,000円	
・新規就農技術支援事業	264,731円	(その他特財 156,398円)
・新しい農の担い手づくり事業費	5,738,000円	
・地産地消ふるさとづくり事業費	1,819,988円	(その他特財 210,000円)
・環境保全型農業推進事業	80,000円	
・グリーンシニアカレッジ運営事業費	1,405,776円	
〔農業経営近代化資金利子補給金〕	6,325,104円	
農協等 金融機関を通じ、前期146件、後期144件の資金融通に対して利子補給を実施しました。		
〔農業経営基盤強化資金利子補給金〕	1,150,307円	(県支出金 557,658円)
三重県信用農業協同組合連合会を通じ、30件の資金融通に対して利子補給を実施しました。		
〔農業後継者対策事業費〕	234,000円	
農業青少年クラブへの活動費助成などを行いました。		

目的	農産物の安定的・効率的な生産を進める				
指標	麦・大豆生産量	目標	1,400 t	実績	1,248 t (19年度1,298 t)
	茶(荒茶)生産量		2,500 t		2,420 t (19年度2,300 t)
	肉牛飼養頭数		2,600頭		2,450頭 (19年度2,450頭)
説明	<p>米の生産調整の確実な実施と水田での麦・大豆の本格生産、農業経営の安定のため、集落ぐるみで取り組む集団転作を支援するとともに、19年度から実施された水田経営所得安定対策に対応し、認定農業者、集落営農組織への麦、大豆の生産を集約し、作付面積を確保することができました。</p> <p>また、茶価が低迷するなかで本市特産の茶の知名度及び茶生産者の意欲向上のため、各種茶品評会への出品対策への支援を、県農業改良普及センターや茶農協と連携して実施し、上位入賞を果たすことができました。</p> <p>農作物の安定生産を阻害する有害鳥獣の被害防除のため、生産者組織等が実施する電気柵等の防除施設の資材購入や猟友会が実施する駆除事業に対して支援を行い被害防止に努めました。</p>				

〔集団転作推進事業費〕	8,479,100円	
集落ぐるみで集団転作に取り組む、22営農組織に対して助成しました。(実施面積330ha)		
〔農産物の生産及び流通対策事業〕	806,380円	
近鉄四日市駅西展示ほ場の管理を若手茶生産農家で組織する輝緑会へ委託実施しました。		

- 〔茶業振興対策事業費補助金〕 250,000円
四日市茶業連合会が実施する、伊勢茶PR事業等へ助成しました。
- 〔伊勢茶出品対策事業費補助金〕 570,000円
四日市茶業連合会が実施する、全国、関西茶品評会への出品対策事業費を助成しました。
- 〔ふるさと産品まつり開催費補助金〕 3,200,000円
11月1日(土)・2日(日)三滝通りにて開催 来場者数 200,000人
- 〔農産物価格安定対策事業資金貸付金〕 8,420,000円 (その他特財 8,420,000円)
- 〔施設園芸作物振興対策事業費補助金〕 100,000円
- 〔三重県花き生産者大会開催事業費補助金〕 200,000円
- 〔楠町機械銀行受託者部会補助金〕 280,000円
- 〔楠町軟弱野菜生産者協議会補助金〕 75,000円
- 〔楠町南川営農組合補助金〕 80,000円
- 〔有害鳥獣対策事業費〕 1,558,700円
 - ・有害鳥獣異常発生対策事業費 1,168,700円
各地区で実施する電気柵等の防除施設材料購入に対して助成しました。(4件)
 - ・有害鳥獣捕獲事業費補助金 390,000円
三泗支部猟友会が実施する駆除事業に対して助成しました。(駆除実績108頭羽)

目的	農地の保全・有効活用を図る				
指標	利用権設定延べ面積	目標	540 ha	実績	545 ha (19年度 516 ha)
説明	農地の利用権設定延べ面積は、545ha(対前年29ha増)となり、年々、農業の担い手への農地集積が進んでいます。また、遊休農地の優良農地への復元対策により、約2.2haの農地が復元され、平成16年度からの実績を合わせて計8.3haが優良農地として確保されました。今後も、耕作放棄地から優良農地への復元及び担い手への農地集積を進めることにより、農地の保全及び有効活用を図っていきます。				

- 〔四日市アグリクリエイター創生事業費〕 1,802,000円
 - ・農地の守り手づくり事業費 1,802,000円
事業を活用し、21,840㎡の遊休農地が優良農地として復元されました。
- 〔四日市農業振興地域整備計画策定事業費〕 567,500円
- 〔市民菜園設置事業費補助金〕 281,000円 (その他特財 281,000円)
市民が開設する市民菜園の整備に対して支援しました。(1件)

その他経費

- 〔市民菜園管理運営費〕 1,799,207円 (その他特財 1,591,000円)
市が開設する市民菜園15園(570区画)の運営を、各園入園者で組織する協議会へ委託実施しました。
- 〔北勢公設地方卸売市場組合施設整備受託事業〕 396,115,000円 (その他特財 396,115,000円)
 - ・整備受託事業費 394,613,000円
 - ・職員手当等 961,000円
 - ・その他事務費 541,000円
 北勢公設地方卸売市場組合の施設整備事業を受託し実施しました。
- 〔負担金〕 215,619,000円
 - ・北勢公設地方卸売市場組合 157,888,000円
 - ・三泗鈴亀農業共済事務組合 57,397,000円
 - ・三泗農業振興協議会負担金 65,000円
 - ・全国農業担い手サミット三重県大会開催費負担金 269,000円
- 〔出資金〕 930,000円
 - ・三重県農業信用基金協会出資金 930,000円

目4 農業研究施設費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
27,096,000円	26,171,609円	96.6%	0円	924,391円

目的	新規農業者育成研修の実施				
指標	新規農業者育成研修の実施人数	目標	28名	実績	16名 (19年度 8名)
説明	定年退職者を対象とした農業塾「グリーンシニアカレッジ」が20年度よりスタートし、実績人数は19年度に比べ8名の増となりました。またビギナー研修受講者はビニールハウスの部は5名と前年を上回りましたが、露地畑、果樹については見込より少人数であり、引き続きPRに努めるとともに、果樹については新たな研修方式を検討いたします。				

目的	市民への園芸情報の提供				
指標	アクセス及び園芸相談件数、参加人数	目標	191,310件	実績	184,561件 (19年度 182,840件)
説明	ホームページや園芸教室などを通じて園芸情報の提供に努め、前年を上回る実績を上げました。市民の園芸に対する関心は強いことから、今後園芸教室の内容を検討し、HPへの園芸情報の充実を図るなど引き続き情報を提供してまいります。				

情報提供件数の内訳

区分	インターネットHP	市民園芸教室	園芸相談	菜園利用数	合計
平成20年度 (19年度)	アクセス183,121件 (181,679件)	受講者532人 (362人)	362件 (258件)	546件 (541件)	184,561件 (182,840件)

目的	種苗の育成と農家への提供				
指標	提供種苗数	目標	95,000株	実績	99,399株 (19年度 100,617株)
説明	バイオテクノロジー等により、観葉植物の組織培養苗を農家に供給するなかで、ポリポジウム、ギボウシの2品種が新たに増殖体制に入り、目標数を上回りました。また、継続してアジサイの胚珠培養をはじめ、有望品種の育成に取り組みました。				

〔バイオテク技術活用促進事業費〕 2,224,573円 (その他特財 1,661,470円)
 〔新規作物開発栽培試験事業費〕 77,921円

目的	農畜産業を知り、ふれあう場の提供				
指標	施設来場者数	目標	58,000人	実績	50,395人 (19年度 43,897人)
説明	農家の情報交換・収集の場として、また市民が園芸や畜産と直にふれあうことにより農畜産業への理解を深めるため、引き続き施設を開放していきます。				

〔農業センター施設管理運営費〕 14,158,221円 (その他特財 2,299,184円)
 〔茶業振興センター管理運営費〕 4,562,000円
 〔ふれあい牧場管理運営費〕 5,072,000円 (その他特財 26,847円)

その他経費

〔全国市立農場協議会負担金〕 20,000円
 〔日本育種学会等負担金〕 10,000円
 〔中部地区市立農場協議会開催事業費〕 46,894円

項2 畜産業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
352,383,000円	352,367,138円	100.0%	0円	15,862円

目1 畜産総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
16,906,000円	16,900,560円	100.0%	0円	5,440円

〔一般職給〕 2人

16,900,560円

目2 畜産振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
3,710,000円	3,699,578円	99.7%	0円	10,422円

目的	農産物の安定的・効率的な生産を進める				
指標	麦・大豆生産量	目標	1,400 t	実績	1,248 t (19年度1,298 t)
	茶(荒茶)生産量		2,500 t		2,420 t (19年度2,300 t)
	肉牛飼養頭数		2,600頭		2,450頭(19年度2,450頭)
説明	<p>畜産物の安定生産のためには、畜産農家の経営安定を図ることが重要であり、素畜の導入資金の貸付けを行うとともに、関係機関と連携し各種情報の提供や飼養技術の向上を図りました。</p> <p>飼養環境の変化や高齢化により農家数の減少が続いており、また飼料価格の高騰、畜産物の価格の低迷と畜産経営を取り巻く環境は一段と厳しくなっており目標達成は困難な状況にあります。畜産環境改善のための支援を引き続き行っていきます。</p>				

- 〔畜産振興事業費〕 3,230,000円
- ・銘柄豚普及活性化事業費補助金 1,460,000円
「三重クリーンポーク」、「みえ豚」の銘柄豚の普及・消費拡大事業へ助成しました。
 - ・乳牛育成事業費補助金 1,770,000円
四日市酪農業協同組合がふれあい牧場で実施する、乳牛の育成事業へ助成しました。
- 〔環境保全対策事業〕 400,000円 (その他特財 400,000円)
- ・畜産防疫環境保全対策事業費 400,000円

その他経費

〔一般経費〕 69,578円

目3 食肉センター食肉市場費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
331,767,000円	331,767,000円	100.0%	0円	0円

〔食肉センター食肉市場特別会計繰出金〕 331,767,000円

項3 農地費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
742,631,000円	728,895,679円	98.2%	3,347,350円	10,387,971円

目1 農地総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
234,636,000円	234,348,266円	99.9%	0円	287,734円

- 〔一般職給〕 6人 41,519,230円
- 〔嘱託職給〕 1人 3,872,416円
- 〔農業集落排水事業特別会計繰出金〕 188,717,000円

その他経費

〔一般経費〕 239,620円 (その他特財 17,000円)

目2 土地改良費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
490,811,000円	481,337,203円	98.1%	3,347,350円	6,126,447円

目的	農業生産基盤の整備を推進する				
指標	基盤整備済面積	目標	1,555.5 ha	実績	1,552.4 ha (19年度 1,549.6ha)
説明	経営規模を拡大し生産性の向上を図り、効率的な土地利用を推進し農業経営を担うものを確保するため、市場地区において18年度より基盤整備事業を開始し、不整形な田畑の整備を行うとともに道路・排水やポンプ場の整備を行いました。目標には達しませんでした。 また、既に整備済である田においては、作物の生産性を高めるため、暗渠排水の整備を行いました。				

〔市場地区ほ場整備事業費〕	42,899,900円	(その他特財 42,338,050円)
市場地区の基盤整備事業を実施し、田畑の整地を行うとともに道路や水路の整備を行いました。		
〔県単土地改良事業費〕	10,274,250円	(県支出金 3,605,000円)
ほ場整備を実施し集落営農への取り組みの顕著な地域において、暗渠排水等の整備を行いました。		
〔土地改良施設維持管理適正化事業費〕	8,000,000円	(その他特財 7,200,000円)
楠町の排水機場の修繕を行いました。		
なお、年度内に工事が完了しなかったため、3,347,350円が明許繰越となりました。		
〔市単土地改良事業費〕	27,945,750円	(その他特財 2,376,885円)
農道・ポンプ施設等の修繕を23ヶ所で行いました。		
〔農村公園維持管理事業費〕	165,900円	
農村公園の遊具の修繕を1ヶ所で行いました。		
〔農道等維持修繕費〕	1,112,261円	
地元で施工する修繕等の材料を8ヶ所に支給しました。		
〔農道等調査事業費〕	3,436,970円	
〔土地改良事業元利補給金〕	113,969,893円	
〔市場地区ほ場整備事業費補助金〕	391,816円	
〔三重用水関連事業〕	261,088,014円	
・三重用水事業償還金	210,719,014円	(その他特財 18,515,128円)
・三重用水土地改良区負担金	49,593,000円	
・三重用水管理体制整備促進事業費	776,000円	(県支出金 580,000円)
〔事業費負担金〕	9,938,600円	
・土地改良施設維持管理適正化事業	715,000円	(その他特財 192,500円)
・土地改良施設維持管理適正化事業(楠)	1,170,000円	
・県営鈴鹿川沿岸経営体育成基盤整備事業	2,234,780円	
・農地・水・環境保全向上対策事業	5,818,820円	(その他特財 1,140,802円)
〔団体負担金〕	237,000円	
・三重県土地改良事業団体連合会	187,000円	
・三重県農道管理協議会	45,000円	
・三重県農地海岸協議会	5,000円	
〔公共基準点事務費〕	490,350円	(その他特財 31,000円)

その他経費

〔その他事務費・一般経費〕	1,386,499円	(その他特財 1,114,884円)
---------------	------------	--------------------

目3 農地防災費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
17,184,000円	13,210,210円	76.9%	0円	3,973,790円

〔井堰・樋門管理委託費〕	387,200円
〔南・北排水機場維持管理事業費〕	5,805,511円
〔南・北排水機場運転管理委託事業費〕	6,974,499円
〔県営農業用河川工作物応急対策事業費負担金〕	43,000円

頂4 水産業費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
126,077,000円	120,923,375円	95.9%	4,000,000円	1,153,625円

目1 水産業総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
7,259,000円	7,258,986円	100.0%	0円	14円
〔一般職給〕 1人		7,258,986円	(その他特財 1,500,000円)	

目2 水産業振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
3,005,000円	2,554,267円	85.0%	0円	450,733円

目的	魚介類が豊かな海づくりを推進する				
指標	生産量(海面漁業、海面養殖業)	目標	7,000 t	実績	4,979 t (19年度 9,895 t)
	生産額		600百万円		522百万円 (19年度 558百万円)
説明	漁協が行う漁場環境浄化への取組みを支援するとともに、ヨシエビ、ガザミ等の種苗放流事業を併せて実施し、漁場環境の改善及び水産資源の保護、育成に取り組みました。貧酸素水塊の出現等漁場環境の変化や気象状況の変動など、漁獲量の安定化を図るためには困難な要因もありますが、今後も継続的に水産振興のための取組みを行っていきます。				

〔豊かな海づくり推進事業費〕	2,168,100円			
・豊かな海づくり推進事業費補助金	793,100円			
四日市市漁協が行うEMを活用した水質環境浄化実証事業へ助成しました。				
・ヨシエビ等種苗放流事業費補助金	1,060,000円	(その他特財	931,077円)	
・抱卵ガザミ放流事業費補助金	315,000円	(その他特財	300,000円)	
四日市地域漁協連絡協議会が実施する種苗放流事業へ助成しました。				
〔漁業経営近代化資金利子補給金〕	18,067円			
〔楠町漁業振興事業費補助金〕	200,000円			
楠町漁協が実施する生産振興、消費拡大事業等へ助成しました。				
〔負担金〕	110,000円			
・四日市地域漁業協同組合連絡協議会	20,000円			
・三重県水産物消費拡大促進協議会	90,000円			

その他経費

〔一般経費〕	58,100円	(その他特財	58,100円)
--------	---------	--------	----------

目3 漁港管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,618,000円	917,026円	56.7%	0円	700,974円
〔漁港管理経費(磯津・楠漁港)〕		768,426円	(その他特財 721,344円)	
〔負担金〕三重県水産基盤整備協会		148,600円		

目4 漁港建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
114,195,000円	110,193,096円	96.5%	4,000,000円	1,904円
〔一般職給〕 1人		6,735,096円	(県支出金 960,000円)	
〔磯津漁港海岸保全事業費〕		14,995,050円	(県支出金 12,750,000円)	
磯津地区の海岸堤防が老朽化等により機能が低下してきていることから、地震時の津波や地盤の液状化対策のため、堤防の改良を行いました。また、離岸堤工事の進捗に伴う養浜検討業務を行いました。年度内に養浜検討業務が完了しなかったため、4,000,000円が明許繰越となりました。				
〔地域水産物供給基盤整備事業費〕		86,045,400円	(県支出金 68,800,000円)	
			(市債 16,200,000円)	
磯津漁港内の静穏度の確保と漂砂の堆積防止を図るため、南防波堤の延長工事を行いました。				
〔その他事務費〕		2,417,550円	(県支出金 2,240,000円)	